

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	60	学校名	仙台市立沖野小学校	校長名	千葉 義徳
------	----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル、テーマ

「緑豊かな沖野小学校」



2 取組の紹介

【環境保全に向けた取り組み】

① 全校行事 除草週間

本校では、毎年全校で校庭の周りの除草作業を行っています。各クラスが担当した場所の除草を行います。自分たちが取り除いた雑草の山を見て、満足そうな顔を浮かべる子供たちでした。一人一人が自分の学校を美しくしようと一生懸命取り組み、協力し合うことで達成できると実感できたようです。

【自然共生に向けた取り組み】

① 2学年「ぐんぐんそだてわたしの野さい」

2学年の生活科の学習では、野菜を育て、観察する活動を行いました。今年度は、一人一苗ずつミニトマトを育てただけでなく、畑を利用して、トウモロコシやキュウリ、ナスなど、計7種類の野菜を育てました。児童は、日々成長する植物の様子に驚いたり、葉や実の形やにおいの違いに気付いたりしながら、楽しく学習をすることができました。



② 緑化飼育委員会の活動

I 日常の活動

緑化飼育委員会では、学校の水槽で、グッピーの飼育をしています。委員会の児童が日々えさやりをし、その姿を見て、下学年の児童が興味を持って観察しています。児童はグッピーが元気に泳ぐ姿を楽しそうに見ており、生き物を大切にする心が育まれています。

II 園芸体験を通して

宮城県花と緑普及推進協議会が主催している園芸体験に申し込み、実施をしました。行った「寄せ植え体験」では、シクラメンやビオラなど、6種類の彩り豊かな草花を、バランスを考えて鉢に植えました。児童は活動を通して、花の産地や、花の造形の美しさなどを学び、草花を大切に育てる心が育ったようです。



3 取組の成果（児童生徒の変容）

子供たちは、自分たちの力で身の回りの環境がよくなることの気持ちよさを感じたり、美しい花を見て幸せな気持ちになったりと、身近な環境に関わっていくことのすばらしさを感じて生活することができています。また、身の回りの環境整備の大切さに気付き、自ら進んで取り組む児童が増えた点もよい変容です。次年度も、環境保全や自然共生の取組に積極的に関わることができるようにし、緑豊かな環境を作っていく意欲につなげていきたいと思います。